



発表会本番！もうすぐです！

2012年10月20日(土) 神戸文化大ホール 5:30~ 出演 藤田佳代舞踊研究所研究生 拍踏組
「届ける」 「わたしたちの神隠し」 「さあ いっしょに」

「わたしたちの神隠し」は、福島原発事故を踏まえて台本を書きました。かくれんぼをしていたら他の子たちがなくなってしまって・・・というところから話が始まります。ミクとただひとりかくれんぼで見つけたシンは光るものにつられて、不思議な世界へ入り込みます。震災後、福島のお母さんが「この子たちに風や太陽をかえしてやりたい」とおっしゃっていました。その言葉を自分のものとして受けとめて書いたつもりです。 菊本千永

ミクとシンはどんな世界の誕生をみたのか、各作品のミクとシンに自分たちの行った世界を教えてくださいました。

- | | | |
|--------|--|-------------------------------------|
| 火の誕生 | こんな火があるんだね！ | 菊原麻理奈(ミク 本部 小4) |
| 水の誕生 | 私は水が生まれる時のミクを演じています。一滴の水がうまれるとそれがどんどん大きくなっていき、そこに小さなマーメイドがうまれるというお話です。ミクの役をあたえられた時とてもうれしかったけど、心の中ではビックリしていました。上手ではないけれど一生懸命踊りたいと思います。 | 田口寧々(ミク 学が丘 小5)
飯高里咲(シン 学が丘 小2) |
| 水の精 | いろいろな精がいたよ。ミクとシンをしょうたいしてくれたいよ。 | 飯高里咲(シン 学が丘 小2) |
| 水の誕生 | 私は、ミクの役に選ばれてとてもうれしいです。ミクとシンは、ここで空気の世界をみます。冷たい空気とあたたかい空気がぶつかって新しい世界ができます。空気になった気持ちで音を立てずに走ると、手をフワフワ動かすのが難しいです。上手にできるようにもっと練習したいです。 | ハーバート真唯(ミク 大久保 小5) |
| わたしの誕生 | わたしは今シンをがんばっています。それはお客さんたちによるこんでもらいたいからです。みんなで上をむいておどったり、みんなで心ひとつにおどれるようにいっしょけんめいしています。あたたかい空気とつめたい空気がまざるところがきれいなのでみてほしいです。新田小夏(シン 大久保 小3) | 新田小夏(シン 大久保 小3) |
| 日の誕生 | 太陽や強いなまたちのあつとうてきなパワーをやみやつづけるところがすごいです。 | 藤井花名(シン 本部 小3) |
| 月の誕生 | 月の精と湖の精がデュエットをおどっていたら、さざ波が生まれてびっくりしたよ。 | 菊原麻理奈(ミク 本部 小4) |
| 石の誕生 | キラキラとした いろいろな宝石の光が重なりあって 美しくかがやく世界。
ミクとシンの前に宝石ができて きれいでした。シンのおどりがじょうずにできたら いいとおもいます。 | 濱田怜衣(ミク 加古川 小5)
魚屋奈々華(シン 加古川 小3) |
| 土の誕生 | 土がいろいろなたねをまいて、どんどん大きくして実をみらせるところがすごいと思いました。 | 藤井花名(シン 本部 小3)) |
| 木の誕生 | すぐ堂々としている木の精ができてびっくりです。最初は少しこわかったけど、友達になれました。木が一本ずつ誕生して、その木の下でハトが眠ってしまうという、不思議で可愛い世界です。
私の行った世界は木がどんどんと、誕生していく世界です。 | 上田佳弥(ミク 山の街 小6)
リオ(シン 山の街 小6) |
| 花の誕生 | 花のたねを花の精がまいたらバラとチューリップがさいて、フラワーレンジャーが花たちを守っていたよ。 | 菊原麻理奈(ミク 本部 小4) |
| エピローグ | めいちゃんもみんなもみつけれられてよかった！
まじょたちのおかげで、いろいろなこと見られて帰ってこれて、みんなを見つかることができた。よかった。 | 菊原麻理奈(ミク 本部 小4)
藤井花名(シン 本部 小3) |

照明下見も終わり、練習の際の熱も暑い夏の日よりも熱くなってきました。こどもたちの(もちろん大人も)誠実な一生懸命さはほんとうに美しいです。この美しさ、ひたむきさ、どうぞ感じに来てください。お待ちしております。

こちらもうすぐです！

向井華奈子モダンダンスリサイタル1

2012年11/10(土) 新神戸オリエンタル劇場 6:00~

出演 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 石井麻子 灰谷留理子 板垣祐三子 梁河西 松浦早希 平岡愛理 山田麻以 数越慶子 本田詠理奈
稲益夢子 菊原麻衣花 三木涼音 末吉花林 菊原麻理奈 向井華奈子
堤悠輔(貞松・浜田バレエ団) 文山絵真(Kobe Ballet Studio)

演奏 河内仁志(ピアノ)

はじめて作舞をしたのは高校を卒業した年の創作実験劇場でした。あれから数年...(とても とても! あっという間に月日は流れたようです...)
作品を生み出す難しさや楽しさを感じながらも数作 作り貯めておくことができました。この度 その作品をあらためて発表できる機会に恵まれ リハーサルを重ねるごとに幸せな思いを感じています。今回ご覧いただくプログラム4作品はどれも 私らしくありながらもそれぞれ違うニュアンスのものを という思いで作舞いたしました。
「虚空の底へ」は研究所のダンサー皆さんでしか出せない空気感を感じることでできる作品に「phenomenon-私たちという現象」はゲストダンサーおふたりとわたしの3人の作品で3人が3人もまったく違うキャラクターなのがおもしろい作品になっています。(ゲストの堤さん 文山さんのおふたりとの今回の共演は実はFacebook がきっかけ...そしてゲストダンサーを迎えることを快諾して下さった佳代先生に心より感謝しています。)
また 佳代先生に振付けていただいている作品「開く」ではピアノの生演奏で踊ります。(ピアニストの河内仁志さんはとても素敵な方ですよ! もちろん演奏も素晴らしいです!)
多くの方々に関わっていただき たくさんのお力添えをいただきながら 日々着々と本番に向かっております。どうか 皆さま11月10日新神戸オリエンタル劇場まで見届けに来てください。

向井華奈子

今回の新作 Phenomenon 私たちという現象に出演して下さっている、ゲストダンサーの堤悠輔さんと文山絵真さんにお話を伺うことができました。

かなこ・向井華奈子さん 堤・堤悠輔さん えま・文山絵真さん ・菊本

直前インタビュー

三人の出会いのきっかけは?

かなこ 昨年の兵庫洋舞フェスティバルふれあいの祭典2011で、森優貴さん振付の「Flying Zero」に出演したのが最初の出会いです。堤さんがオーディションの審査とその後の指導をされていました。オーディションの日にはほんとうに汗だくになりながら指導していましたよ。

去年以降お互いの印象は変わりましたか?

堤 そのまんま。かなこちゃんはチャキチャキ。えまちゃんはボワーン。
えま う～ん。変わってないです。
かなこ 印象は変わらないけどまさかこうなるとは思ってなかった。こうなってよかったです。
今回の新作「phenomenon - 私たちという現象」ですが、どんなきっかけで創ろうと思いましたが？
かなこ きっかけは去年の地震です。映像でみたのですが、男の子が「津波がきたので逃げろと言われて逃げていた。振り返ったら家族がいなかった」と語っていました。酷いことですがそれでも、その子は生きていくだろう。だから自分もきちんと生きていかなければと思い創ろうと思いました。生きていくのがとても生きにくい人たちもいる、でも、個として1人1人はとても大切。そんな思いを踊りにしました。
改めてこのきっかけを聞いて、どう思いますか？
堤 個人的にはまだ振りが入っていないのです。たとえて言うならおおきな刀で木を削った感じ。振りが定まってもっと小さな彫刻刀で丁寧に彫り込んでいきたいです。自分を動きに変える・・・自分って客観的にはみられないし難しいですね。
堤 客観的にこうありたいという自分を動きにしたい。それがどう生きていきたいか、ということにつながればいいなと思います。
えまちゃんは？
えま いざ振りが付くと難しい。う～ん。普段の生活から(笑)自分らしさを考えたいです。
多くの振付家の作品を踊ってこられたお二人ですが、向井さんの作品は他の振付家と比べてどうですか？
堤 初めて、な感じです。すらすら入っていく感じじゃない。かなこちゃんのシャープな動きに対応し切れていないし、「こういうふうにおどってほしい」と言われていないんです。
かなこ 「こういうふうに通ってほしい」と頼んで振り付けののなら二人には頼まない。振りうつしが終わったらもっと自由にもっと自分を出してもっと鮮やかな色のついた空間を創っていきたくいです。
今まで踊ってこられた振付家ももっと「こう踊ってほしい」みたいな要求が多いですか？
堤 個々の振付家にはそれぞれスタイルがあって、やはりそれに沿った要求があります。台詞があたりするような作品で「自由にやって」と言われた作品はあったんですよ。でも今回のように踊りだけで、自由に踊ってみてというのは初めてです。それじゃあ、ユニゾンの部分なんかはかなこちゃんに絶対合わせてと思ってたけど・・・合わせるのやめた(笑)！！
えま かなこさんほし、自由にさせてもらえるし。でも自由って時々不自由・・・。
ダンサーの道を選んだきっかけは？
堤 バレエは小さい頃から始めていました。中学校を私立の六甲中学に行きまして、中学から留年があるような大変な学校でした。それで、勉強も大変、バレエの方も同世代がたくさんいて大変、両立は無理、と思っていた頃、校長先生に「勉強もいつからでもできるけど、バレエは今のうち。バレエをしたら？」と勧められて、高校1年生の終わりに学校をやめて自分を雇うことに追い込んで、留学しました。そこからはもう必死でしたよ。その校長先生は僕の舞台も観に来てくれるし、学校公演に呼ばれて踊ったり、学校とはいい関係です。
えま う～ん。まだ選んだのかどうか・・・。自然に踊ってるかな。また観たいと言ってくれる人がいるから踊っているのもあるし、これやりたい、と思えるから踊っているときもあるし。
飛び入りで 佳代先生 そう言いながら、明日死ぬという時まで踊るのよ。
えま え？そうなんですか、わたし。
日頃気をつけていることはありますか？
堤 僕は団では「バレエマスター」という立場なのでクラスを受けなくても怒られることはないのですがしんどくてもクラスは必ず受けます。いつでも踊れるように。
えま う～ん。何かー。そんな・・・気をつけていること・・・ちゃんと好きなことして・・・あ！歩き方！！固めないように歩きます。一歩出すとき体全体で動くように。あと、疲れたとき外向きにならないように。
(またしても)飛び入りで佳代先生 せいぜいそんなことか。いいな！！
今後の予定を教えてください
堤 12月1日(土) 新開地アートビレッジセンター Genesis Art Company 公演 Chemistry
1月14日(月・祝) 新国立劇場 地域招聘公演 三人の出会いのきっかけとなった、森優貴さんの作品を踊ります！
えま いま決まっているものはありません
最後に後輩たちに一言お願いします。
堤 がんばって踊りつけて下さい。どんな形でもいいんです。続けることが大事です。
えま う～ん。なんやら・・・先生の言うことをよく聞いて(笑)。いえいえ、今となってみれば、これはすごく大切なこと。ずっと踊って下さい。想像以上におもしろいお二人でした。みなさん ぜひ！会場にお運び下さい！！

いままでありがとうございました

9月27日 平岡正之さんがお亡くなりになりました。研究科生の平岡愛理さんのお父様で、2月の創作実験劇場では拍踏組として「届ける」に出演して下さいました。愛理さん曰く「お父さんは痛い体を脱いでいただけでいつでも一緒にいます。」もちろん！私たちもそう思います。発表会の会場にもいらっしゃいますよね。きっと拍踏組として手を叩き足を踏んでくださっているはず。心して踊らせていただきます。いままで本当にありがとうございました。

ご報告～終わりました！

ピッコロフェスティバル 2012年8月18日(土) ピッコロシアター大ホール

Who am I? 1 alone 2 with or without you 3 hurt in my hart 4 alone again

出演 金沢景子 梁河茜 平岡愛理 松浦早希 山田麻以 数越慶子 本田詠理奈 稲益敦子 稲益夢子 菊原麻衣花 雲井綾音 末吉花林

Dance Bouquet 8月26日(日) 本部スタジオ

粉々に砕けたわたしを 菊本千永 開く(プロローグより) 向井華奈子 真夜中の人形 稲益夢子・菊原麻衣花

アローいまだここにいますか 菊原麻理奈(作舞 藤田佳代) eye 谷岡亮 脱出 寺井美津子

ここはどこ 菊本 かし 金沢 灰谷 向井 待つ 向井 寺井 金沢 わたし わたしはわたしをさがす 遠く 近く もっと近く かじのり子
稲益夢子さん(中2)と菊原麻衣花さん(中1)が初めて作舞しました。「真夜中の人形」です。ベートーベンの『エコセーズ』をつかい、きちんと創られた完成度の高い作品でした。続編も期待できそうです。

敬老会 9月17日(月・祝) つくしホール

みあげよう この空を アリの好きなもの 星 木の誕生

出演 山の街教室 桂木教室

ミクが最後に持ち帰る青い玉をどうしようかと探していたとき、「青い地球のサッカーボール」を見つけました。サッカーボールに地球の写真が印刷されているもので、キャッチコピーが「国境線の引かれていない宇宙飛行士が見た地球」国境線・・・雨も風も鳥も魚も花も悠々と超えていくのに人間だけが簡単には超えられないもの。でも人間が想定したのだから人間の力でなんとかなるものなのに。結局大きすぎて舞台上では使えないサッカーボールを眺めてふと、考えました。 責任編集 菊本千永